

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：LudgerTag™ 2AB糖鎖キット
製品番号：LT-KAB-VP24, LT-KAB-VP96（メーカー略号: LUD）
構成品名：2PB reductant (2-picoline borane)
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

水反応可燃性化学品:区分 2

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語:危険

危険有害性情報

水に触れると可燃性ガスを発生

皮膚刺激

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策

水と接触させないこと。

湿気を遮断し、不活性ガス/適切な液体又はガス下で取り扱い保管すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、聴覚保護具を着用すること。

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。眼には触らないこと。

応急措置

火災の場合:消火するために指定された消火剤を使用すること。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。

皮膚に付着した場合:固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと。

皮膚刺激が生じた場合:医療処置を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の危険有害性

物理的及び化学的危険性

水と接触した場合に、発火または可燃性ガスが発生する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

慣用名又は別名：2-ピコリンボラン

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
2-メチルピリジン(N-B)ボラン	< 100	3999-38-0	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合：固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと。

その後皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防じんマスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

変異原性を有する製品。医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

水、棒状放水

火災時の特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

水が製品に触れないように容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたときは、固着していない粒子を皮膚から払いのけ、直ちに流水で洗浄する。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

可燃性物質(紙、おがくず)に吸収させてはならない。

清掃で水を使用しないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

皮膚や眼との接触を避けること。粉じんの発生を避けること。

(火災・爆発の防止)

水と接触させないこと。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、聴覚保護具を着用すること。

湿気を遮断し、不活性ガス/適切な液体又はガス下で取り扱い保管すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。眼には触らないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。常温で保存すること。光を避けること。

乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

混触禁止物質

「10. 安定性及び反応性」参照。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

職業ばく露限界値

設定されていない

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

使用後は製品が皮膚に触れないように外し、化学乾燥廃棄物として処分すること。

眼及び/又は顔面の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：白色

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

水と激しく反応する。

避けるべき条件

湿気

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、ボラン/ホウ素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

その他情報

この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号：UN2813

品名(国連輸送名)：その他の水反応性固体、N.O.S.(2-メチルピリジン(N-B)ボラン)

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：4.3

容器等級：II

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号: 138

15. 適用法令

該当法令

(注) 法令で規定された名称の後ろの[]は成分名を示す。

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

2-メチルピリジン(N-B)ボラン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

ほう素化合物(ほう素として)(10.1%)[2-メチルピリジン(N-B)ボラン100%(管理番号405)]

消防法

危険物

第3類 自然発火性物質及び禁水性物質 危険等級 I(指定数量 10kg)

化審法：非該当

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

ほう素化合物[2-メチルピリジン(N-B)ボラン]

船舶安全法

可燃性物質類 禁水性物質 分類4 区分4.3

航空法

可燃性物質類 水反応可燃性物質 分類4 区分4.3

土壌汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

ほう素及びその化合物[2-メチルピリジン(N-B)ボラン]

水質汚濁防止法

有害物質

ほう素及びその化合物[2-メチルピリジン(N-B)ボラン]

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第67版 (2026年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

JIS Z 7252 : 2025

JIS Z 7253 : 2025

Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：LudgerTag™ 2AB糖鎖キット
製品番号：LT-KAB-VP24, LT-KAB-VP96（メーカー略号: LUD）
構成品名：30% acetic acid in DMSO
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 4

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(血液、呼吸器系)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2(呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語:危険

危険有害性情報

可燃性液体

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害(血液、呼吸器系)

臓器の障害のおそれ(呼吸器)

水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、聴覚保護具を着用すること。

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。眼には触らないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:消火するために指定された消火剤を使用すること。

ばく露又はその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。

すぐに救急の医療処置を受けること。

医療処置を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の危険有害性

物理的及び化学的危険性

高温になると引火、燃焼する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
ジメチルスルホキシド	70	67-68-5	2-1553
酢酸	30	64-19-7	2-688

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。

すぐに救急の医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合：すぐに水で15分以上洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医療処置を受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

- 使ってはならない消火剤
 - 棒状放水
- 火災時の特有の危険有害性
 - 加熱すると容器が爆発するおそれがある。
 - 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
 - 特有の消火方法
 - 大量の水で容器を冷却する。
 - 消火水の下水への流入を防ぐ。
 - 消火を行う者の保護
 - 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - 漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。
 - 回収が終わるまで十分な換気を行う。
 - 適切な保護具を着用する。
 - 眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
 - 環境中に放出してはならない。
 - 下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策
 - (取扱者のばく露防止)
 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - 皮膚や眼との接触を避けること。
 - (火災・爆発の防止)
 - 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 - 安全取扱注意事項
 - 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、聴覚保護具を着用すること。
 - 接触回避
 - 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 - 衛生対策
 - 取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。眼には触らないこと。
 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 保管
 - 安全な保管条件
 - 換気の良い場所で保管すること。
 - 施錠して保管すること。常温で保存すること。
 - 容器を密閉して、涼しく換気のよい場所に保管すること。
 - 混触禁止物質
 - 「10. 安定性及び反応性」参照。
 - 安全な容器包装材料
 - 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度及び濃度基準値

(酢酸)

濃度基準値 STEL: 15ppm

職業ばく露限界値

日本産業衛生学会

(酢酸)

10ppm; 25mg/m³

ACGIH

(酢酸)

TWA: 10ppm; STEL: 15ppm (上気道及び眼刺激; 肺機能)

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：強い臭い

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

データなし

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

熱、火気、静電気
混触危険物質
酸塩化物、ハロゲン化リン、強酸化剤、強還元剤、可溶性炭酸塩、リン酸塩、水酸化物、金属、
過酸化物、過マンガン酸塩、アミン、アルコール
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(ジメチルスルホキシド)

ラット LD50: 14500 mg/kg

(酢酸)

ラット LD50: 3310 mg/kg

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(ジメチルスルホキシド)

ラット LD50: 40000 mg/kg

(酢酸)

ウサギ LD50: 1060 mg/kg

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(ジメチルスルホキシド)

ミスト: ラット LC50: > 5330 mg/m³ (4時間)

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(酢酸)

区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(酢酸)

区分 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(ジメチルスルホキシド)

区分 2 (呼吸器)

(酢酸)

区分 1 (血液、呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

その他情報

この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

この製品に含まれるジメチルスルホキシドは経皮浸透性が非常に高く、皮膚透過性物質の吸収を促進する。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHIRIP]

(ジメチルスルホキシド)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) 24時間 EC50: 6830 mg/L

(酢酸)

甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: 65000 μ g/L

水溶解度

(ジメチルスルホキシド)

混和する (出典: ICSC, 2000)

(酢酸)

混和する (出典: ICSC, 2010)

残留性・分解性

[成分データ]

(酢酸)

急速分解性あり (分解度: 74% (by BOD)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(ジメチルスルホキシド)

log Pow: -1.35 (計算値) (出典: ICSC, 2000)

(酢酸)

log Pow: -0.17 (出典: NITE)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号：UN2790

品名(国連輸送名)：酢酸溶液、濃度が10質量%を超え50質量%未満のもの
国連分類(輸送における危険有害性クラス)：8
容器等級：III

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号: 153

15. 適用法令

該当法令

(注)法令で規定された名称の後ろの[]は成分名を示す。

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

ジメチルスルホキシド[ジメチルスルホキサイド]; 酢酸[酢酸]

名称等を通知すべき危険/有害物

ジメチルスルホキシド[ジメチルスルホキサイド]; 酢酸[酢酸]

腐食性液体(規則第326条)

酢酸

皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)

ジメチルスルホキシド[ジメチルスルホキサイド]; 酢酸[酢酸]

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法

危険物

第4類 引火性液体第3石油類水溶性液体 危険等級 III(指定数量 4,000L)

化審法：非該当

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

海洋汚染防止法

施行令 第1条

有害液体物質 Z類物質(第1条の2 別表第1)

酢酸[酢酸]

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第67版(2026年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2025

JIS Z 7253 : 2025

許容濃度等の勧告 (2025年度) (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：LudgerTag™ 2AB糖鎖キット
製品番号：LT-KAB-VP24, LT-KAB-VP96（メーカー略号: LUD）
構成品名：2-AB Dye
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

（注）記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

強い眼刺激

注意書き

安全対策

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。眼には触らないこと。

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医療処置を受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

慣用名又は別名：2-アミノベンズアミド, アントラニルアミド

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
o-アミノベンズアミド	< 100	88-68-6	3-4561

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

火災時の特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚や眼との接触や吸入を避けること。粉じんの発生を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は手および汚染箇所をよく洗うこと。眼には触らないこと。

保管

安全な保管条件

常温で保存すること。光を避けること。

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

混触禁止物質

「10. 安定性及び反応性」参照。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

職業ばく露限界値

設定されていない

設備対策

適切な換気のある場所にて取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体への保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：ページュ

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

データなし

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

その他情報

この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

吸入や接触、摂取により皮膚、眼、呼吸器系に刺激のおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

15. 適用法令

該当法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

JIS Z 7252 : 2025

JIS Z 7253 : 2025

Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。